

北里大学と相模原市との連携事業等

平成27年10月26日現在

部署	事業名	概要	所管課	これまでの実績	直近26年度実績
1	(1) 人材育成 相模原市 地域医療医師修学資金 貸付制度	地域医療体制の基盤づくりを進め、市民の保健、医療及び福祉の向上に資することを目的とし、将来、相模原市の総合診療医として医師の業務に従事しようとする意思がある者を対象に、大学が定める納入金額のうち修学に必要な費用を貸与する。修学資金の貸付を受けた者が、医師免許取得後、一定期間、相模原市内の指定医療機関に勤務した場合、修学資金及びその利息の返還を全額免除する。	地域医療課 医療政策担当	平成25年度 1年生 1名 3年生 3名 計4名	平成26年度 1年生 1名 3年生 2名 計3名
2	(1) 人材育成 (3) 健康福祉 相模原市寄附講座 「地域総合医療学」	相模原市からの要請に基づき、北里大学において地域医療に関する教育・研究を行い、その成果の普及と人材の養成により、市における地域医療の向上に寄与することを目的とする。		(1)総合診療医の育成に関する教育プログラムの開発研究：「日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラム」の認定を念頭において、準備を開始。全国地域医療教育協議会に参加し「総合診療専門医」の研修プログラムに関する情報収集を行った。(2)地域医療提供体制並びに地域医療教育に関する研究：医学部3年生の研究入門の枠において、地域医療医師修学資金の貸与を受けている医学生と指導教員によるパイロット調査の実施。(3)地域医療・在宅医療の推進と啓発活動：相模原市在宅医療地域研修会に参加し、相模原市医師会の先生方と協議を行った。寄附講座のHPの作成のため内容策定を開始。	(1)地域総合医療学の人材拡充：新たな特任助教の確保。(2)修学資金学生の選定と学習支援：修学資金学生の選定、面談および学年横断連絡会の開催。(3)総合診療医の育成に関する後期研修プログラムの開発研究：日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラムの申請及び認定(プログラム名「北里大学さがみはら総合診療医育成プログラム」)。(4)地域医療提供体制ならびに地域医療教育に関する研究：平成25年度に実施した調査を基に、3年生における研究入門の枠において相模原市内における、とくに高齢者の医療機関の利用に関する調査を実施。(5)地域医療・在宅医療の推進と啓発活動：ホームページの開設、市民公開講座「在宅医療についてもっと知ろう」で寄附講座の取組みを報告。(6)地域の医療機関、医師会・病院協会との連携の推進：相模原市在宅医療地域研修会、市主催の「在宅医療の推進にかかる懇談会」に参加。(7)市立診療所における診療支援と地域医療教育の実践：代診を含めた診療所の診療支援の体制を検討、修学資金の学生を対象としたサマーセミナーの実施。
3	(1) 人材育成 (3) 健康福祉 相模原市寄附講座 「地域児童精神科医療学」	相模原市の政令指定都市への移行に伴い、精神保健福祉センター等の設置や精神科医療に関わる人材の確保、特に児童精神科領域における医療体制の充実が喫緊の課題となっている。そのため、児童精神科医師の確保と育成、診療体制の拡充及び地域連携の構築を行う。	精神保健福祉課	(1)児童精神科医の養成：平成24年度は精神科後期研修医4名、平成25年度は小児科医1名を含む5名の医師に対して専門研修を実施。(2)発達障害等啓発活動：平成25年度は発達障害、子どもの情緒的発達、小中学校の児童生徒のメンタルヘルス全般など多岐に渡り、合計7回の講演を実施。(3)地域連携：寄附講座から、児童に関する相模原市の機関5か所に嘱託医として専門知識と経験を有する医師を派遣。	(1)児童精神科専門医の養成：精神科後期研修医2名への専門研修の実施。(2)発達障害等理解行動プログラム開発研究：講演及び講演後のアンケートを実施。(3)地域連携の構築：電話による学校相談事業を実施。
4	(1) 市民学習 相模原市内大学図書館 等と相模原市立図書館 との相互協力	市民のより高度な専門資料・情報に対する要望に対応するため、北里大学の4図書館を含む相模原市内に拠点を置く大学図書館等と相模原市立図書館の間で平成6年に相互協力協定を結び、主に紹介状を使用した来館による専門書等の利用提供を行う。	市立図書館	医学図書館における実績 ・情報交換等を目的とした相互協力連絡会への担当者出席(年2回) ・市立図書館依頼の「大学図書館施設概要調査」への回答(年1回) ・平成25年度の利用：閲覧2回	医学図書館における実績 ・情報交換等を目的とした相互協力連絡会への担当者出席(年2回) ・市立図書館依頼の「大学図書館施設概要調査」への回答(年1回) ・平成26年度の利用：閲覧3回、所蔵照会3回 (平成27年1月20日現在)

	部署	事業名	概要	所管課	これまでの実績	直近26年度実績
5	看護学部	(1) 市民学習 (6) まちづくり	「子どものお仕事ワークショップ」 「子どものお仕事ワークショップ」として、来場した子ども達に対し、医療に携わる仕事の理解を深めるという主旨で開催した。 ・北里大学文化会「ぬいぐるみ病院部」と合同で企画 ・子ども達が医師に扮して、病気になった人形の治療を行うという、ロールプレイを提供 ・食育に関する保健教育を演劇形式で提供	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	平成25年3月に開催 開催時間：13時～16時 参加者数：およそ 30名程度	
6		(1) 人材育成 (3) 健康福祉	相模原市保育園の保育士を対象とした救命救急蘇生に関する研修会 相模原市立の保育園で勤務する保育士20名程度を対象に、2時間程度の研修会を市の施設（けやき会館等）で実施。 生涯発達(小児)の教員で対応 概要については以下の通り ・骨折や熱傷時の対応方法 ・アナフィラキシーショックについて ・心肺蘇生法演習(心肺蘇生人形を用いて実施)	保育課	平成22～25年度実績 【参加者数】各年度とも保育士 20名前後 【場所】けやき会館等 【開催回数】毎年1回	
7		(3) 健康福祉	思春期保健事業 赤ちゃんといふれあい体験事業 「ベビーにタッチ～明日かがキラめく体験タイム」 思春期の子ども達が赤ちゃんとその保護者に触れ合うことにより、赤ちゃんの特徴や育児の予備知識を得て育児のイメージを広げるとともに、子どもを大切に育てる親の気持ちを知ることにより、生命の大切さを再認識し自己肯定感を育てるきっかけを作る。ピアカウンセラーから思春期に関する正しい知識を得ることにより、性に関わる態度や行動について将来を見通して意思決定できる能力を高める。	母子保健担当部署	【受講者数】 平成24年度 20名程度（市内の中高校） 平成25年度 15名程度（市内の中高校生） 【講座内容】 平成24年8月：看護学部助産専攻学生によるピアエデュケーションを開催 平成25年8月：看護学部助産専攻学生によるピアエデュケーションを開催	【平成26年度】受講者数：12～3名 内容 看護学部助産専攻学生によるピアエデュケーションを開催
8		(3) 健康福祉	相模原市介護保険認定審査委員 相模原市介護保険の認定審査員として、介護保険の認定審査判定会議に出席。	介護保険課	介護保険制度が開始されてから、毎月2回の介護保険認定審査会議に認定審査委員として出席し、最終の認定判定を実施している。1回の認定者数は平均35名	介護保険制度が開始されてから、毎月2回の介護保険認定審査会議に認定審査委員として出席し、最終の認定判定を実施している。1回の認定者数は平均35名
9		(3) 健康福祉 (6) まちづくり	南区の魅力づくり事業 南区魅力づくり事業の第3弾として、オータムフェア'13南区PRイベントの1ブースを看護学部の学生13名と教員3名が担当。南区住民に対して、健康測定(骨密度測定と血圧測定)・相談を実施。	南区役所地域政策課	平成25年10月6日(日)実施 参加者数；約90名	なし
10		(6) まちづくり	南区区民会議 平成22年4月の区制施行に伴い、区の課題やまちづくりの方向性について協議を行う場として各区に設置された市の附属機関であり、構成団体などが協働して取り組むために、自治会や地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、公民館など各地域で活動している団体の代表者が課題解決に向けた活動のために話し合う会議に委員として出席。	南区役所区政策課	【出席者数】 25名（うち北里大学職員1名） 【会議内容】 第1期相模原市南区活動報告に対する評価と第2期計画書の作成	【出席者数】 25名（うち北里大学職員1名） 【会議内容】 第1期計画の実施ならびに実施（無作為抽出討議会の実施、若い世代を取り込んだまちづくり企画の実施、Facebookの開設等）
11		(3) 健康福祉	難病患者地域支援ネットワーク会議に係る作業部会 保健所及び医療関係機関等が連携し、難病患者及び家族の安定した療養生活の確保と生活の質の向上を図るため、難病患者の療養生活の課題等について協議。	疾病対策課	H20年度以降、継続し会議に参加（会議は2～3回/年実施されている） 会議以外での協力 ・H20年度「施設看護師のためのスキルアップセミナー」技術指導 ・H25年度、H26年度「ホームヘルパー養成研修」講師	

	部署	事業名	概要	所管課	これまでの実績	直近26年度実績
12	看護学部	(3) 健康福祉 (4) 防災 難病患者地域支援ネットワーク会議	災害時に地域で療養生活を送る難病患者の安心・安全を保障するために、保健医療福祉機関の関係者が、関連法律の最新情報の共有、難病患者一次入院事業、災害時要支援者への取り組みについて話し合う会議に委員として出席。	相模原市保健所疾病対策課	【出席者数】 19名（うち北里大学職員1名） 【会議内容】 災害時の難病患者の対応について（役割分担、マッピング等）	【出席者数】 20名（うち北里大学職員1名） 【会議内容】 難病患者に対する医療等に関する法律、長期療養難病患者への関わり、一次入院事業、災害時の取り組みについて
13	薬学部	(3) 健康福祉 (5) 環境保全 新都市農業推進協定（薬用植物を通じた連携事業）	薬用植物の試験・研究及び普及・啓発事業を通じて、“健康”・“環境”・“ビジネス”の視点での新たな都市農業の創出を進め、もって「相模原市新都市農業推進計画」の実現を図る。	農政課	北里大学薬学部附属薬用植物園及び新たに学外に設置する北里サテライトガーデン（薬用植物園）を中心に展開する次の事業。 1. シンポジウムの開催など薬用植物の普及・啓発事業 2. 薬用植物園の開放による薬用植物の栽培体験・講習・相談事業 3. 薬用植物の研究成果を応用した栽培技術や加工・流通システムの開発など新たなアグリビジネスの創出事業	市民向け講義年5回以上開催、他農作業、研究活動としてシンポジウム開催など
14	医療衛生学部	(3) 健康福祉 超高齢社会における高齢者の健康増進のための地域住民ネットワーク形成事業	高齢者の健康づくりを推進するためには、地域の抱える課題を顕在化させ、その地域課題に沿ったフォーマル・サービスやインフォーマル・サービスを整備することが重要であり、本事業は、これらのサービス整備の基礎となる地域課題を明らかにするための社会調査を、相模原市および桜美林大学と協働で実施。北里大学は、その特徴である保健・医療の観点から本事業に参画。	相模原市長	【実施内容】 市内の公営住宅団地である、市営大島団地・市営上九沢団地・県営大島団地に在住の65歳以上高齢者全員（677名）に郵送法での質問紙調査を実施した。北里大学の講師1名および助教2名が質問紙の作成とデータ分析を実施、329名（48.6%）の高齢者から回答を得ることができた。北里大学での分析の結果から、地域の高齢者における身体・心理・社会経済的課題について顕在化。	
15	教学本部	(1) 市民学習 市民大学北里大学コース	地域の高等教育機関と、市民及び行政の連携に基づき、市民の学習ニーズに応えと共、社会が抱える諸課題の解決に寄与することを目的とした講座を開催。	相模原市教育委員会・座間市教育委員会	(1) 例年3講座開講（各テーマ毎週1回・計8回×3講座＝24回実施、定員：150名以上） 「舞台裏がみえる芸術鑑賞教室」 最新の医療に携わる専門家の立場から、豊富な事例を織り交ぜ、暮らしに役立つ医療についてわかりやすく講義する。受講者自身、家族などの病気や症状について、その原因や治療法などを理解するために知っておくと便利な医学的、薬学的、診断学的な医療の知識を概説する。 「暮らしに役立つ医療の知識」 最新の医療に携わる専門家の立場から、豊富な事例を織り交ぜ、暮らしに役立つ医療についてわかりやすく講義する。受講者自身、家族などの病気や症状について、その原因や治療法などを理解するために知っておくと便利な医学的、薬学的、診断学的な医療の知識を概説する。 「健康で豊かな人生のための基礎知識」 日常生活を健康に過ごし、豊かな人生をおくるために知っておきたい知識を豊富に盛り込んだ講座である。わたしたちの日々の暮らしの中で実践できる安全な食の確保、無理なくできる健康管理、そして病気や怪我の予防と対策などについて幅広い視点から概説する。	(1) 今回3講座開講（各テーマ毎週1回・計8回×3講座＝24回実施、定員：100名以上） 「舞台裏がみえる芸術鑑賞教室」 「暮らしに役立つ医療の知識」 「健康で豊かな人生のための基礎知識」 なお、新規参加者の開拓や交通の便の為、市民大学開催場所を「相模大野駅にあるユニコムプラザさがみはら」に変更した。

	部署	事業名	概要	所管課	これまでの実績	直近26年度実績
16	大学病院	(3) 健康福祉 相模原市医療懇話会	相模原市、相模原市医師会、相模原市病院協会、北里大学病院、北里大学東病院が集まり、少子・高齢社会の進展や国の医療制度改革など相模原市をとりまく環境が変化するなか、市民医療の将来展望などを大所・高所の見地から自由に議論することを目的に開催している。 相模原市長をはじめ、機器管理局長、健康福祉局長、消防局長も出席する。	大学病院・東病院 執行部	平成26年2月12日(水)相模原市役所にて開催	平成27年1月9日(金)相模原市役所にて開催
17		(3) 健康福祉 神奈川県傷病者の搬送及び受入れの実施基準に定める受入医療機関確保基準に関する「相模原ルール」の締結	相模原市の救急隊が実施基準に定める分類基準に基づき搬送先医療機関に受入れを要請した場合において4回以上受入を照会しても受入に至らないとき、又は現場滞在時間が30分以上経過した場合の傷病者(専門性の高い処置を要する妊産婦及び特殊性の高い精神疾患を有する傷病者を除く)については、北里大学病院救命救急・災害医療センターで一時的に受入れ、必要な処置をした後に二次応需当番病院へ転院搬送又は転送する。	相模原市消防局	48件 (平成25年1月1日～12月31日)	36件 (平成26年1月1日～12月31日)
18		(3) 健康福祉 児童生徒心臓病検診に伴う臨床検査技師の派遣	一般社団法人相模原市医師会より学校健診・心電図計測等で所見のあった児童生徒のうち、医師会心疾患管理委員会において、精密検査の必要を認められた者を対象に運動負荷心電図を実施しており、その検査要員として臨床検査部職員(臨床検査技師)を派遣している。	中央メディカルセンター事業課	平成25年7月5日に2名派遣	平成26年6月30日(月)、平成26年7月8日(火)、平成26年7月11日(金)各々1名の合計3名を派遣
19		(1) 人材育成 (3) 健康福祉 介護職員等の喀痰吸引等研修会	介護従事者が在宅で喀痰を吸引するために資格の取得が必要であることから、この資格の取得を目的とした研修会である。開催日は、平成27年3月14日～同年3月15日に北里大学病院内の施設で開催予定である。 定員:24名 次年度以降は、年2回開催予定である。 主催:北里大学病院(相模原町田地区介護医療圏インフラ整備コンソーシアム共催)	相模原市地域医療課		受講者予定数:24名(地域の介護従事者)
20		(3) 健康福祉 健康フェスタ	腎臓病のお話と相談会	相模原市地域保健課	2013年 来場者数80名 相談者数8組11名 「家族でできる腎臓病の予防と治療」～高血圧、蛋白尿、腎機能低下を持つ人に～ 北里大学病院 腎臓内科長 鎌田貢壽	2014年 来場者数81名 相談者数8組9名 「慢性腎臓病を早期に発見、健康診断受診のすすめ」 北里大学医学部腎臓内科学講師 青山東五
21		(3) 健康福祉 慢性腎臓病予防講演会	家族でできる腎臓病の予防と治療のお話～高血圧、浮腫、蛋白尿、腎機能低下を持つ人に～	相模原市地域保健課	2013年3月2日 相模原市橋本にて講演 演者 北里大学医学部腎臓内科学教授 鎌田貢壽	
22		(4) 防災 震災対策	透析患者の震災対策会議	神奈川県保健福祉局保健医療部保健予防課	2012年7月27日および2012年10月26日 相模原市役所2Fに於いて意見交換 出席者 北里大学病院 腎臓内科長 鎌田貢壽	
23		(3) 健康福祉 相模原市民まつり出展「腎移植懇談会の会」	臓器移植の状況、実態、また移植情報統計など臓器移植医療情報を掲示し、正しい移植医療情報を知ってもらうことを目的として実施。	一般社団法人 相模原市観光協会	平成7年より参加、継続して出展を行っている。市民の臓器移植に対する意識調査として毎回、500名への簡単なアンケートを実施。経年的変化の統計も行っている。	開催:平成26年4月6日(日) 場所:相模原市役所通り 結果:初回のアンケート時には拒絶する市民も見られたが、経年参加により抵抗なく答えてくれる市民が多く見られたと思われた。徐々にではあるが、市民への臓器移植に対する認識も得られていると考えられた。

部署		事業名	概要	所管課	これまでの実績	直近26年度実績
24	大学病院 (3) 健康福祉	KITASATO移植市民セミナー(旧腎移植懇談会)	臓器提供についての正しい情報提供、腎臓移植情報講演の実施。内容も毎年テーマを変え、医療者のみならず、様々な分野での講師を招聘、幅広い医療情報に努めた。	北里大学泌尿器科	1999年より腎移植懇談会として開始、16年間継続開催している。相模原市ほか他市の後援も受け、患者のみならず多くの市民、医療従事者の参加がある。毎回100名を超える参加者が得られており、第10回の記念開催では200名であった。また、参加型のグループディスカッションには、市民、患者、医療従事者などにより活発な意見も発表するなどの企画も実施し好評であった。開催を楽しみにしている参加希望者からの問い合わせも多くみられる。なかには16年間、欠かさずに参加し評価は高い。	開催日:平成26年10月5日(日)10:00-12:30 場所:ユニコムプラザさがみはら 3F 参加者数:約80名(台風接近のため、例年より少ない参加者であった) 講演1:「移植について知ってほしい! ~日本臓器移植ネットワークの役割~」(公社)日本臓器移植ネットワークあっせん対策部長 芦刈淳太郎先生 講演2:最先端の外科手術:ロボット支援手術「手術支援ロボットってなに?ダ・ビンチってだれ?」医学部泌尿器科学 主任教授 岩村正嗣先生共催:北里腎移植患者会「なごみの会」
25	東病院 (3) 健康福祉	メンタルヘルス相談業務委託	相模原職員メンタルヘルス相談業務	相模原市役所総務部職員厚生課	24年度 メンタルヘルス相談 176時間 打ち合わせ会議 4回 25年度 メンタルヘルス相談 176時間 打ち合わせ会議 4回	メンタルヘルス相談 176時間 打ち合わせ会議 4回
26	東病院 (3) 健康福祉	認知症疾患医療センター運営事業	保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等の実施。	相模原市役所高齢者支援課	24年度 面接 409件 電話相談 950件 25年度 (市民)面接 786件 電話相談 885件 (市民以外)面接 145件 電話相談 260件	(市民)面接 884件 電話相談 948件 (市民以外)面接 266件 電話相談 287件
23	大学病院 (1) 人材育成 (3) 健康福祉	相模原市寄附講座「地域総合医療学」	相模原市からの要請に基づき、北里大学において地域医療に関する教育・研究を行い、その成果の普及と人材の養成により、市における地域医療の向上に寄与することを目的とする。	地域医療課 医療政策担当	(1)総合診療医の育成に関する教育プログラムの開発研究:「日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラム」の認定を念頭において、準備を開始した。また、全国地域医療教育協議会に参加し「総合診療専門医」の研修プログラムに関する情報収集を行った。 (2)地域医療提供体制並びに地域医療教育に関する研究:医学部3年生の研究入門の枠において、地域医療医師修学資金の貸与を受けている医学生と指導教員と共にパイロット調査を行った。 (3)地域医療・在宅医療の推進と啓発活動:相模原市在宅医療地域研修会に参加し、相模原市医師会の先生方と協議を行った。寄附講座のHPの作成のため内容策定を開始している。	(1)地域総合医療学の人材拡充:新たな特任助教の確保。 (2)修学資金学生の選定と学習支援:修学資金学生の選定、面談および学年横断連絡会の開催。 (3)総合診療医の育成に関する後期研修プログラムの開発研究:日本プライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラムの申請及び認定(プログラム名「北里大学さがみはら総合診療医育成プログラム」)。 (4)地域医療提供体制ならびに地域医療教育に関する研究:平成25年度に実施した調査を基に、3年生における研究入門の枠において相模原市内における、とくに高齢者の医療機関の利用に関する調査を実施。 (5)地域医療・在宅医療の推進と啓発活動:ホームページの開設、市民公開講座「在宅医療についてもっと知ろう」で寄附講座の取組みを報告。 (6)地域の医療機関、医師会・病院協会との連携の推進:相模原市在宅医療地域研修会、市主催の「在宅医療の推進にかかる懇談会」に参加。 (7)市立診療所における診療支援と地域医療教育の実践:代診を含めた診療所の診療支援の体制を検討、修学資金の学生を対象としたサマーセミナーの実施。